# 鶴岡市ボランティアセンターだより

発行・お問合わせ 鶴岡市社会福祉協議会 鶴岡市ボランティアセンター 〒997-0033 鶴岡市泉町 5-30 Tel:23-2970 Fax:23-9110 E-mqil:shk-vol2@shk01.jp

# いざという時のスタッフ対応を学ぶ!

~災害ボランティアセンター研修会で鶴岡市内の関係団体が役割を共有~



△朝のスタッフ会議の訓練から開始!

7月20日(火)、にこ♥ふる大会議室で、災害ボランティアセンター(以下災害 VC と表記)研修会を実施しました。今回は、ウェザーハート災害福祉事務所の千川原公彦代表を講師に迎え、「コロナ禍における対応」をテーマにして、約40名がいざという時を想定しながら災害 VC の取組を学びました。



△ボランティア受付班・ニーズ班。 救護班も検温、体調確認等で対応!



△講師千川原氏の講話、 訓練後は全体振り返りで助言!

#### コロナ禍で応援をもらえないかもしれない!

昨年からの長引くコロナ禍は、全国各地で発生している災害の現場でも、これまでとは状況が一変しています。鶴岡で災害が発生した時にも、スタッフやボランティアを他市町村から応援をもらえないかもしれません。そのようなことも想定し、鶴岡市社協職員と鶴岡青年会議所、NPO法人鶴岡災害ボランティアネットワークのメンバーが協力して災害 VC を運営していけるよう各班に分かれて実施。今回は、場面ごとに参加者全体で意見交換や課題の確認を行いながらの訓練ができました。



ボランティア役は、鶴岡市災害 VC 連絡会の皆さんと NPO のメンバー(一部)にお願いしました。中には、全国の 災害現場で活動を経験してきた方もいて、貴重なアドバイスもたくさんいただけました。また、コロナ禍ではボランティアも県内や市内に限定することも想定されるため、県外から駆け付けた強面!の人や、受付時に体温 37.5℃ 以上の人を演じてもらい、その対応訓練も行いました。



△マッチング班とボランティア



△全体の要になる総務班!



資材班・車両班 イラストで! ・

## 「月山高原ひまわり畑」でみんな繋がろう!

~ 鶴岡高専サービスデザイン部が、農福学連携で活動中 ~

鶴岡高専では、羽黒地域のさくらが丘(障害者就労継続支援 B 型事業所)、月山高原ひまわり畑を管理している農家の方々と協力して、特産品づくりに取り組んでいます。さすが工業高等専門学校・・さくらが丘の皆さんが回収したひまわりの葉を原料にして紙を作るための研究や装置を作製し、その紙を活用したアクセサリーやコースターなどを作成。昨年、月山高原ひまわり畑で行ったチャリティイベントでは、訪れた多くの市民の皆様のおかげで、アクセサリーが3日間で完売する等、月山高原で多くの人たちが繋がった取組になりました。

#### コロナ禍で苦慮している福祉施設の役に立ちたい!!

#### 令和2年度社会実装置教育フォーラムで「構想賞」を受賞!



▲おめでとう!

「コロナ禍で、障がいのある方々が製作した商品販売に影響があり皆さんが落胆している」。そんなお話を聞いた4人の学生が、皆さんが誇りをもった仕事(ディーセントワーク)をできるようにと、「月山高原ひまわり紙」を作ることを考え、そのための「簡易紙漉き器」を開発した。4人が設定した社会課題やその解決に向けた構想が高く評価され、東京高専主催のフォーラムでの受賞に繋がった。彼らの言葉「高専らしいボランティア活動を行いたい」に



## 障がいがあっても活躍している人がたくさんいます!

~学校での福祉学習 今年は新たな講師も~

## 話題の渋谷真子さん <sup>ユーチュ</sup>-あさひ小と羽黒中で講師!

今、全国的に話題の車いすユーチューバー渋 谷真子さん(鶴岡市)が、7月8日(木)羽黒 中学校1年生、9日(金)あさひ小学校で4年 生の福祉学習の講師を務めてくれました。

茅葺き職人、マタギ等で活躍していた真子さんは、仕事中の転落事故の後遺症で車いすの生活になりました。障がい者になってからも、いろいろなことに挑戦しながら、「障がい」理解を広げる活動を地道に続けています。

#### 《あさひ小の子どもたちより真子さんへ 一部を抜粋》

- ▽真子さんの話を聞いて、おへそから先が動かない のに自分でできることをしていて、心が強い人だ なあと思いました。真子さんとまた勉強したいな と思いました。
- ♡真子さんは、障がい者なのに「ラッキー」と言って いたのですごいと思いました。
- ♡わたしは、身体障がいのある人に会ったら、まず は聞いて、手伝えることがあったら手伝いたい。
- ▽車いすの乗り方を 教えてくれて、 ありがとうござい ました。車いすの人 の気持ちがわかった ような気がしました。



### 視覚障がいがある森井さんの 積極的な生き方にビックリ!

7月1日(木)あさひ小学校で、 視覚障がい者の森井雪さん(きよむさん。鶴岡市)を講師に招いて4 年生の福祉学習が行われました。

森井さんは、右目が全盲で左目が視力 0.03。自宅から 8 km程離れたところで治療院を開業していますが、送迎してくれていた父親が体調を崩してからは、一人で定期バスでの通勤を始めました。

この日は、森井さんの日頃の生活等を講話・写真・動画で紹介しながら、障がいや福祉機器等のことを学びました。また、サウンドテーブルテニス(卓球台で音が出るボールを使い行う競技)の対決と、文書を音声で聞くテルミーの操作を体験する等、初めて経験することがたくさんありました。



∇森井さんの講話



定期バスで通勤−▽森井さんは、



▽難しいなあ~

### <u>子どもたちから森井さんへの感想文は 録音したCDでした ♥️</u>

目が不自由なことは大変なことなのに、趣味を楽しみながら前向き に生活していることを知りました。森井さんは、そんな中で「しあわせ」 と言っていたことが凄いです。 〈一部を抜粋〉

## 傾聴ボランティア養成講座 受講者募集!

高齢、障がい、病気等で話を聴いてほしい人のために 傾聴で支援する活動をしたい方のための講座です。

◎日 時 9/4、9/11、9/18、10/2、10/9、10/16(各土曜日 午前9時~12時)全6回参加必要

◎方 法 zoomによるオンライン講座

◎定 員 4名

◎受講料 10,000円(テキスト他)

◎募集締切 8月20日 (金)

問合せ先 山形傾聴塾 電話 090-9533-0532

詳細は日本傾聴塾のホームページで!

## ちょボラ場予定 (8~9月)

<u>8月</u> 4日(水) 18日(水) 25日(水)

<u>9月</u> 15日(水) 29日(水)

◎時間 午前10時~12時

◎場所 にこ♥ふる

◎内容 ケロちゃんタオル作り、 リサイクル封筒作りなど

感染症予防に努めて行います! ただし、庄内地方や鶴岡市の感染状況 により中止する場合もあります!

## じろで庄内 2021~庄内の風になれ~ ボランティアスタッフ募集!

自然に囲まれた広い庄内地方・・長距離を楽に走ることのできるスポーツ自転車のイベントに スタッフとして手伝ってくれる方を募集中です。(活動時間は、午前、午後、終日等を選べます)

◎活 動 日 9/11(土)前日準備 9/12(日)大会当日 9/13(月)大会片づけ

◎活動内容 準備、コース上のエイドステーション係、後片づけ、他

©申 込 み 鶴岡市ボランティアセンターに申込書あります。 大会事務局 庄交トラベル事業部(電話 0235-24-2550) 当初の締切りは 7月31日(土)でしたが、8月下旬まで受け付けるとのことです!

